

学年	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌ったり友達と仲良く手遊びをしたり、楽しく活動をしている。 ・わらべうたでは、ペアで協力して交流することができる。 ・ひらがなを読むスピード遅かったり、器楽では、指がうまく動かせなかったりする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律に合わせて言葉がついていけない児童のために、デジタル教科書を用いてテンポをおそくして練習をしたり、拡大文字のプリントを用意したり、教材を工夫する。 ・けんばんの学習では指を丸くする、音譜通りに演奏する、運指を考えて演奏するなど、個々にあったレベルを設定する。 	
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・拍にのってリズムを唱える活動は、どの児童もできるようになったが、リズムリレーでは、リズムにのりきれず止まってしまう児童がいて音楽の流れが止まってしまう場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムボックスを利用して、ロック・サンバ・マーチ・ワルツ・ボサノバなどいろいろなリズムにのって言葉を唱える活動を取り入れる。リズムにのってつくった音楽を全体でリレーをする活動を取り入れる。 	
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱については、楽譜がうまく読めない児童も意欲的に活動をしている。 ・運動会の応援の声と歌の声が歌い分けられない児童がいる。 ・新しくリコーダーが楽器に加わり、どの児童も姿勢や持ち方など気を付けながら演奏をしている。すぐに持ち方や吹き方を忘れて左手で持ったりタンギングができなかったりする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な2部合唱や輪唱などを通して全体に自分の声を溶け込ませる活動を取り入れる。 ・机間巡視をして、個別指導を何度もする。 ・ペア学習を通してお互いを見合い、良いところや直した方が良いところを意見交換する活動を設ける。 	
4年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽譜通りに歌ったり演奏したり楽譜を分析することができる。 ・いろいろなリズムを聴くことは好きだがリズムにのって演奏することが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな国の音楽を鑑賞させる。そしていろいろなリズムにのって歌ったり打楽器を演奏したりして、体を使って演奏する体験をさせる。 ・歌の声を電子黒板や映像などを通して鑑賞させる。ペア学習により自分の声と友だちの声を聴き比べる。 	
5年	<ul style="list-style-type: none"> ・男子も女子も歌唱に意欲的な児童が多いが、まだ楽譜に慣れず譜読みのおそい児童がクラスに数人いる。 ・楽器の技能面では、個々で差があり手が止まって活動が思い通りにできない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた歌唱プリントを用意する。例えば、ひらがなのみのプリント、漢字交じりのプリント、歌集を使つての譜読みなど、いくつか用意し自分で譜読みがしやすいものを選ばせる。 ・1つの楽曲に対して、簡単・普通・応用バージョンの楽譜を用意し、学習に取り組みやすい教材を作成する。 	
6年	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、器楽とも意欲的に活動をしている。 ・自分の表したい音楽を友達に伝えること、そして友達の音楽と調和させることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で音楽を分析する時間とペア学習やグループ学習により互いの考えを学ぶ時間を設ける。 	

